

中国四国

J-クレジット制度 オンライン勉強会 (バイオ炭の農地施用)

<開催日>

令和7年 12月 15日 (月)

13:30~ 15:50

開催形式：オンライン (Microsoft Teams)

申込締切

令和7年

12月 12日 (金)

13:00

中国四国農政局では、J-クレジット制度の「バイオ炭の農地施用」について理解を深めてもらうことにより、取組の拡大を図ることを目的に勉強会を開催します。多数の参加をお待ちしております。

<内容>

J-クレジット制度の概要
中国四国農政局

J-クレジット制度で求められるバイオ炭とは

「高機能バイオ炭^{そらたん}『宙炭』による農地施用とJ-クレジット制度活用の実例」
(株)TOWING

バイオ炭の製造事業者紹介
(株)トロムソ

取組事例紹介
(株)フジタ、(株)KCL

<対象>

農業者、自治体、
民間事業者、金融機関 等

バイオ炭の農地施用とは

バイオ炭を農地に施用することで
難分解性炭素として土壌に長期間貯留する
方法論です。



施用



鉋質土壌の農地
または採草放牧地

下記URLもしくは二次元コードからお申し込みください。

・申込フォーム：<https://forms.office.com/r/n2WCEfxPA8>

【問合せ先】中国四国農政局生産部環境・技術課 山本、常盤

TEL：086-224-4511 (内線 2417、2789)



株式会社 TOW ING
取組は香川県・高知県他



J - クレジット制度で求められるバイオ炭について、専門家からわかりやすく紹介していただきます。

また、地域の未利用バイオマス（もみ殻や畜糞、樹皮など）を炭化したバイオ炭に、有機肥料の利用効率を高める土壌微生物群を添加した高機能バイオ炭「宙炭（そらたん）」の活用事例も紹介していただきます。

株式会社トロムソ
（広島県尾道市）



バイオ炭製造装置やもみ殻固形燃料製造装置等の製造・販売を手掛けている事業者から、もみ殻や剪定枝を原料に、地域の立地条件に合ったバイオ炭の製造方法について、海外での活用事例も含めて紹介していただきます。

株式会社フジタ
取組は広島県福山市他



独自に開発された「リン吸着バイオ炭」により下水処理過程で生じる脱水ろ液からリンを回収し肥料化する技術を用い、広島県と岡山県の7市2町からなる備後圏域で「資源循環・地域資源・脱炭素」モデルの構築とJ - クレジット制度のプログラム型プロジェクト運営を目指す取組みについて紹介していただきます。

株式会社KCL
（岡山県岡山市）



もみ殻を原料としたバイオ炭による地域サーキュラーエコノミーシステム「藤田モデル」の構築にあたって、具体的な仕組みづくり、そのために必要な支援策の活用など、プログラム型プロジェクト運営・管理者に至るまでの実体験と今後の展開を紹介していただきます。